



一人暮らしの高齢者などを対象にした『生きがい教室』が11月20日におこなわれ、この日は民生児童委員の方と一緒にしめ飾りを作りました。

参加者の大瀧いよ子さん（道海）は巧みに手足を使って縄をなっていました。

手作りしめ飾りで
新年を迎える



特集

大江の令和2年

令和3年

1

No. 719

謹賀新年

令和3年

新春のごあいさつ

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。新年を迎え、令和3年が皆さんにとって良い年となるよう心からお祈りいたします。

昨年は、第6代の大江町長に就任させていただき、新しい体制でのスタートの年となりました。就任以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応や、影響を受けている町民や事業者の方々への経済支援に始まり、7月豪雨による被災者への支援や土砂災害・農作物被害などへの対応と、次々と現れる課題と向き合っていました。

約1年前を思い返してみると、新型コ

ロナウイルスが全世界を震撼させ、日本においても私たちの生活に大きな制約と打撃を与えることになるとは、誰も考えもしなかったのではないのでしょうか。今は、感染症防止の徹底が経済回復かどうかの選択ではなく、両立できるようなバランスを取りながら町政を進めることができなにかと思慮する日々です。

また、大江町のように地域における人との繋がりを大切にしてきた土地柄では、人の行き来が制約され集まることすらできないことは、様々な社会生活の場面において大きな支障になっています。「3密回避」や「ソーシャルディスタン

ス」などの言葉が声高に叫ばれ、日常生活においてはマスクの着用やこまめな手指消毒と手洗いが必須となるなど、生活様式に大きな変化が求められています。しかし、これまでの歴史を顧みれば人間の知恵は様々な苦難を必ず乗り越えてきました。ワクチンの開発と接種開始はもう目の前までできているようです。収束となる日まで、皆さんには「新しい生活様式」を実践いただきますようお願いいたします。

令和2年7月の豪雨災害は大江町史に残る大災害となりました。「災害は忘れた頃にやってくる」は、もう一昔前の言葉になりました。想定外も想定内でなければならぬ時代となり、自然を相手に人類はどう向き合っていくのか。異常気象の多発という環境の変化に対し、私たちの自然現象への対応や環境整備方針も変化し、そして進化していかなければならないと思います。今後も災害復旧に全力で取り組むとともに、洪水防止対策や土砂災害防止対策を進め、町の強靱化に努めてまいります。

町では、第10次の大江町総合計画（令和2年度～令和11年度）を策定し、基本構想、そして基本計画を決定いたしました。その中で町が目指す将来像を「ちょうどいい 幸せ感じるまち」と定めています。町民一人ひとりにとって、幸せの度合いが期待どおりとなるという意味が、この「ちょうどいい」には込められています。大江町の10年後の姿を思い描

きながら、町民策定委員21人が熱い議論を重ねていただいた経過と内容を大切に、これからのまちづくりにぜひ活かしていきたいと思っています。そのことが「夢を共有できるまちづくり」の実現につながると信じているからです。

さて、令和3年の干支は十二支で2番目の丑です。丑と言えば、おいしい鰻を連想させる土用の丑の日、午前2時から2時半の深夜を指す丑三つ時などが頭に浮かびます。まだまだ丑に関する言葉はたくさんあると思いますが、丑年はどんな年なのだろうかと調べてみれば、「我慢（耐える）」「これから発展する前触れ（芽が出る）」とありました。先述の土用の丑の日とは、季節の変わり目の直前を指す土用の期間の丑の日のこと、丑三つ時は夜明けの直前のこと、これらをふまえると、我慢をしたところからの芽吹き時期と考えられるのではないかと思います。今年はそんな年になっていくのかなと感じるのは私だけでしょうか。令和になって初めての丑年はどんな年になるのか。ぜひ世界・日本・山形県そして大江町にとってより良き年になってほしいものです。

昨冬は記録的な暖冬で、「本当に大江町の冬なのか」と思わせる状況でありました。大雪の気配も感じますが、今冬はいったいどんな冬になるものか。これから本格的に寒さ厳しい季節を迎えますが、町民の皆さまには健康で幸多い一年になることを心から願っております。



大江町長 松田 清隆

写真で1年間を振り返る

大江の令和2年

令和2年は少雪、新型コロナウイルス感染症、7月豪雨災害と、記録にも記憶にも残る1年となりました。



◀1月 小正月行事

近年稀にみる少雪のため、歴史民俗資料館の「雪中田植え」は矢引沢地区から雪を運んで実施されました。

▶2月 松田新町長誕生

渡邊兵吾町長の任期満了に伴う町長選挙がおこなわれ、前副町長の松田清隆氏が初当選（無投票）しました。

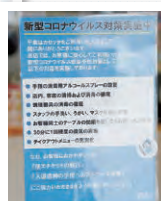


◀3月 記念誌の発行

町誕生60周年を記念して2月に「ふるさと発見 大江」、3月に「町勢要覧（オリジナル版、ダイジェスト版）」を発行しました。

▶4月 感染症対策強化

新型コロナウイルス感染症の予防のため、学校の休校や施設の休館・利用制限となりました。各施設などでは飛沫防止のフィルムや消毒液が設置されるようになりました。



▲5月 大江を応援商品券配布

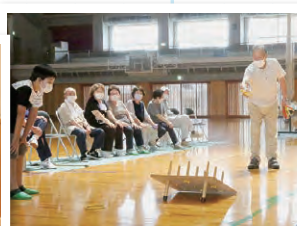
新型コロナウイルス感染症による地域経済対策として、商品券が町民1人あたり3,000円分配布されました。

また、75歳以上の高齢者で1人暮らしの方へ、民生児童委員によりマスクの配布がおこなわれました。



▲6月 各種講座などがスタート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を休止・見合わせていたO-STEPや講座などが感染症対策のうえで徐々におこなわれるようになりました。



令和2年の主な出来事

- 1月 6日 町民新年会・町政功労者表彰式
9日 山形連携中枢都市圏の連携協約締結式
12日 小正月行事
26日 町体育協会表彰
第27回町民つなひき大会
- 2月 2日 ふれあいコンサート
8日 奥おおえ柳川温泉雪まつり
14日 町誕生60周年博覧会「OeEXPO」～18日
21日 町老人芸能大会
- 3月 6日 松田新町長初登庁
16日 大江中学校卒業証書授与式
- 4月 6日 にじいろ保育園入園式
7日 町内小中学校入学式
8日 町交通安全祈願祭
- 5月 17日 大江を応援商品券の配布
- 6月 1日 朝日連峰古寺案内センターオープン
23日 町区長会総会
- 7月 3日 大江中学校「部活動継承式」
5日 県内河川一斉清掃
28日 7月豪雨災害
- 8月 1日 プレミアム付がんばれ大江商品券の販売
10日 左沢中央通り商店街「青竹ちょうちんまつり」～15日
8区「行燈まつり」～16日
15日 町商工会青年部「御神火リレー」
最上川供養
23日 町商工会青年部「サプライズ花火」
27日 町老人クラブ対抗公式ワナゲ大会
28日 大江中学校「躍動祭」
- 9月 5日 町内小学校運動会
6日 町交通安全町民大会
18日 老人福祉大会
19日 にじいろ保育園運動会
- 10月 25日 町長杯パークゴルフ大会
31日 O-STEP「元気いっぱいエンジョイ親子遊び」
- 11月 1日 図書館まつり～30日
14日 福祉のまちづくりフェア2020
16日 主要地方道大江西川線貫見沢口間交通安全祈願祭および開通式
25日 除雪出動式
- 12月 1日 町営バス新車両導入
17日 大江錦「初しぼり」発売



▲7月 豪雨災害

大江町史上最大の災害と言われている昭和42年の羽越水害に匹敵する規模の災害となりました。多くの方々から復旧へのご支援・ご協力をいただきました。



◀8月 サプライズ花火

水郷大江灯ろう流し花火大会が中止となりましたが、商工会青年部が270発の花火を打ち上げました。

▶9月 町内運動会

秋晴れの続く中、町内の小中学校・保育園などでは運動会がおこなわれ、熱戦が繰り広げられました。



◀10月 修学旅行で来町

7月豪雨の被害状況などを学習するため、鶴岡市立朝陽第一小学校の6年生が修学旅行の一環で来町しました。

▶11月 県道の一部開通

主要地方道大江西川線貫見沢口間の460m区間が部分開通となり、安全祈願祭と開通式がおこなわれました。





▲盛田茉優さんの入選受賞作品



▲左から林さん、伊藤さん、板坂さん、佐竹さん、保科さん



▲左から青柳校長、滝田さん、伊藤清人寒河江税務署長

租税教育推進校等表彰

寒河江税務署長感謝状

左沢高等学校（青柳敦子校長）

令和2年度「税に関する高校生の作文」

寒河江税務署長表彰

「税の大切さ」

滝田光桜さん（左沢高等学校3年・寒河江市）

令和2年度「税の標語」

寒河江西村山間税会長奨励賞

板坂陽奈さん（大江中学校3年・蛭水）

佐竹巧僊さん（大江中学校3年・伏熊）

保科拓海さん（大江中学校3年・美郷）

令和2年度「中学生の税についての作文」

大江町商工会長賞

林 紬希さん（大江中学校3年・藤田）

東北税理士会寒河江支部長賞

伊藤菜月さん（大江中学校3年・12区）

令和2年度 山形県明るい選挙ポスターコンクール

個人の部・入選

盛田茉優さん（左沢小学校5年・9区）

団体の部・奨励賞

左沢小学校

国際ソロプチミスト寒河江 クラブ賞



大江町書道愛好会

国際ソロプチミスト寒河江(田中ふみ子会長)のクラブ賞が、11月23日に大江町書道愛好会(清野昭一郎会長)に授与されました。

同会は50年前ごろから少年少女書道教室を開催し、書道を通して児童の育成に努めています。現在も17名の指導者が約70名の子どもたちに教えています。

授与をした田中会長は「未来ある子どもたちを約50年も育ててきたことは本当に素晴らしいです」と話されました。



陸上競技表彰

第42回 北日本学生陸上競技対校選手権大会

女子100m 第1位

第49回 東北学生陸上競技選手権大会

女子100m 第1位

第73回 東北学生陸上競技対校選手権大会

女子100m 第1位

第73回 山形県陸上競技選手権大会

女子100m 第1位

岡田 悠さん（山形大学1年・蛭水）

山形県社会教育連絡協議会表彰



鴨田 幸恵さん（4区）

社会教育活動に貢献された方などに授与される山形県社会教育連絡協議会表彰を鴨田幸恵さんが受賞されました。

鴨田さんは平成23年4月から平成31年3月までの8年間大江町社会教育委員を務められ、さらに、成人女性を対象とした生涯学習講座の代表を5年間務めるなど、社会教育振興のため尽力されました。受賞について「色々な方とのつながりを持てたおかげです。出会いに感謝しています」と話されました。

寒河江税務署長納税表彰



伊藤 篤市さん（5区）

多年に渡り率先して申告納税制度の普及発展に努め、納税意識の向上に顕著な功績をあげられた方に授与される税務署長納税表彰を伊藤篤市さんが受賞されました。

伊藤さんは長年に渡り公益社団法人寒河江法人会の副会長として同会の中心的な立場で納税制度の啓発活動に携わり、納税意識の向上に尽力されました。受賞について「申告納税は国の根幹をなす制度なので今後も普及発展に努めたいです」と話されました。

瑞宝双光章

各分野で大きな功績を収め、88歳を迎えられた方に勲章が授与される高齢者叙勲において、公立学校校長などを歴任された犬飼安太郎さんが、令和2年7月1日に瑞宝双光章を受章されました。

犬飼さんは昭和31年から公立学校教諭として勤務し、本郷中学校、左沢中学校、左沢小学校、七軒南小学校などで教鞭を執りました。七軒南小学校では、同校の百周年事業の一つとして地域の歴史書の発刊に奔走し、地域に根付いた学校づくりを進めました。その後、県内各地での勤務を経て、平成2年4月から七軒東小学校校長として、「郷土を愛する子どもの育成」を学校教育の目標として、地域との積極的な連携により、運動会などの学校行事に地域の方がこぞって参加できるようにするなど、地域と結びついた教育活動を推進されました。

※犬飼さんは、受章後の11月12日に亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

県さのこ品評会 林野庁長官賞



渡辺 謙太郎さん（塩野平）

県さのこ品評会が11月26日に新庄市でおこなわれ、最優秀賞の一つの林野庁長官賞に渡辺謙太郎さんが出品した生シイタケが選ばれました。この品評会は県山菜・きのこ振興会が主催するもので、青果市場や行政関係者が形や色つや、かさの開き具合などを審査しました。

渡辺さんは「さらに上の賞があるので、まだまだがんばっていきたいです」と話されました。



▲リニューアルされた町営バス。ぜひ利用してみてください

新しい町営バスが運行開始

町営バスの車両が12月1日から新しくなりました。これまで使用していたマイクロバス（27人乗り）が老朽化したため、更新車両としてワゴン車（12人乗り）を導入。新車両の外装には、バス停にもデザインされているヤマガタダイカイギウをモチーフにした「プクちゃん」や町特産のフルーツ、花火、旧最上橋などが描かれています。

町営バスをよく利用している井上朋子さん（8区）は「青の落ち着いた色合いで、バスと分かりやすく良いですね」と話してくれました。

新型コロナ対策の要望書を受領

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、町内事業者は今後の見通しが立たない不安を抱えた状況が続いているとして、12月4日に大江町商工会、大江町区長会などが連名で要望書を町に提出しました。

内容は、切れ目のない経済対策を要望するもので、木村圭一商工会長は「収束が見えない状況。年間を通じた支援をお願いしたい」、松田栄一区長会長は「商品券などは波及効果もあった。継続した支援が必要と感じている」と話されました。松田町長は「支援の時期や方法について検討します」と答えました。



▲松田町長に要望書を提出する木村商工会長（中央）、松田区長会長（右）

ツリーのプレゼント



7月豪雨で被災した地域の園児を元気づけようと、山形県みどり推進機構（今井敏理事長）より大江幼稚園（大江光洋園長）に、電飾などが施されたモミの木のクリスマスツリーが贈られ、12月4日に贈呈式がおこなわれました。

贈呈式では、同機構の安達喜代美専務理事（写真左）から松ぼっくりで作られたウサギなどの飾りが園児に手渡され、園児たちがツリーに飾り付けをしました。

除雪作業の安全祈願



本格的な降雪シーズンを迎え、町道除雪の始動にあたっての出動式が11月25日に中央公民館駐車場でおこなわれました。

会場にはドーザやロータリーなどの除雪用機械が横一列に並べられ、この冬に除雪作業にあたる委託業者や、直営除雪運転手などの関係者が出席しました。式では、除雪作業中の安全を祈る神事をおこない、出席者は無事故への決意を新たにしました。

善意いただきました



大江町建設クラブ（高子公雄会長・写真中央、大泉雅裕副会長・写真右）より、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策などに役立ててほしいと50万円を支援金として町に寄付していただきました。

高子会長は「新型コロナウイルス感染症拡大で地域経済への影響が大きいと感じています。感染症の収束が見通せない状況で、その対策に活用していただければと思います」と話されました。

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

新しい受診の仕方、相談窓口について

発熱や咳などの「症状がある場合」

発熱や咳などの風邪症状がある場合は
必ず受診前に電話で相談してください！

かかりつけ医療機関がある

かかりつけ医療機関に電話で相談してください。
※相談を受けた医療機関で対応できないときには、最寄りの対応医療機関をご案内します。

かかりつけ医療機関がない

受診相談コールセンター

☎ 0120(88)0006
【土日祝含む、24時間対応】

発熱などの患者の診療や検査をおこなう「診療・検査医療機関」が診療

症状の有無に関わらず不安な場合
や予防方法などのご相談

● 県の一般相談コールセンター

☎ 0120(56)7383

【8時半～18時、土日祝含む】

● 厚生労働省「電話相談窓口」

☎ 0120(56)5653

【9時～21時、土日祝含む】

● こころの健康相談

(県精神保健福祉センター)

☎ 023(631)7060

【平日:9時～12時、13時～17時】

基本的な感染症対策を継続しましょう

マスクの正しい着用

症状がなくてもマスクを
しましょう。



※鼻とあごを隠しましょう

こまめな手洗いやアルコール消毒

正しい手の洗い方



流水でよく手をぬらした後、
石けんをつけ、手のひら、
手の甲をよくこすりします。



指先、爪の間、指の間を
念入りに洗います。



手首、親指と手のひらを
ねじり洗います。最後に
十分に水で流しましょう。

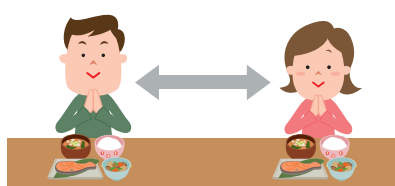
適切な換気

窓を2か所開け効率の
良い換気をしましょう。



身体的距離の確保

食事の際は極力斜めに座るなど
距離をとりましょう。



3密や人混みを避ける

ソーシャルディス
タンスをとり、人混み
は避けましょう。



◎感染された方やその家族、医療従事者など
に対する心無い言動やSNSでの書き込み
など、差別や偏見、いじめなどは決してお
こなわないようにお願いします。

◎発熱や咳、味覚障害の症状などがある場合
は、軽い症状であっても仕事や外出を避け、
早めに医療機関などに相談してください。

☎健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114



11/28 クリスマスはこれで決まり

おおえ町民大学「ぶくらすカレッジ」の講座の一つである「女子力アップ講座」が、11月28日に中央公民館で開かれました。

この日は23名が参加し、テレビ番組でもお馴染みの管理栄養士・樋口順子さん（山形市）と矢作由美子さん（尾花沢市）が講師となり、クリスマス料理の「やまがた地鶏のクリーム煮ノルマンディ風」「おからのチョコケーキ」「サンタのデコ巻き寿司」づくりに挑戦しました。講師の楽しいトークやアドバイスをもとに、参加者は短時間で手際よく調理をおこなっていました。



12/9 免疫力を高める身体づくり

「みんなで食ッキング健康教室・運動編」が、12月9日に中央公民館で開催されました。

この日は28人が参加し、訪問介護ステーションいぶきを運営する会社の代表取締役で理学療法士の柏倉弘典さん（久保地区出身）の「免疫力を高めてコロナに負けない身体をつくろう」と題した講演を聴きました。

柏倉さんは、免疫力を高めるには睡眠の質や腸内環境を整えることなどが重要であるとし、参加者は筋力トレーニング方法として有効なスクワットの正しいやり方などを学びました。



11/1~30 本を身近に図書館まつり

「図書館まつり2020」が11月1日から30日まで町立図書館で開催されました。

期間中には、借りた本の数だけスタンプをもらい、その数に応じて景品と交換できるスタンプラリーや、処分予定の本や雑誌などを無料で配布するリサイクル市、本にブックコートをかける図書館のお仕事体験などがおこなわれました。

さらに11月29日には、2013年に公開され、日本アカデミー賞最優秀作品賞などの多数の賞を受賞した映画「舟を編む」が大型スクリーンで上映され、多くの方が鑑賞しました。



11/25 「全集中」でコースター作り

「ぶくらすカレッジ」の講座の一つ「元気はつらつ・シルバー講座」の第3回学習講座が11月25日に中央公民館で開催されました。

この日は16名が参加し、皮革工芸作家の宗方久弥さん（山形市）を講師に、好きな色の本草の生地数本を格子状に編み込み、接着剤でくっつけて、オリジナルの本草コースター作りに挑戦しました。

参加者は「隙間ができるので、そのバランスが難しかった」「今流行りのアニメを意識して作りました」などと話してくれました。



11/23 国際交流へ扉を開こう

おおえ国際交流協会・左沢高等学校・寒河江工業高等学校共催事業の「世界へのとびら～インターナショナル day2020～」が、11月23日に中央公民館でおこなわれました。

それぞれの高等学校の生徒8名のほか、町内の児童や幼児11名が参加し、世界各国出身の6名のALTとともに、クリスマスにちなんだゲームや買い物、アドベントカレンダー作りを楽しみました。高校生が児童にやさしく英語を教えてあげる様子も見られ、クリスマスカード交換の時には参加者たちの笑顔がはじけていました。



令和2年第4回大江町議会定例会が、12月9日から14日までの会期で開かれました。
定例会では、公共施設にかかる指定管理者の指定や今年度の各会計の補正予算などについて審議され、原案どおり可決されました。その内容の一部をご紹介します。

議会

第4回定例会 town council

行政報告

令和3年4月採用の町職員採用試験がおこなわれました。社会人経験の行政職と土木職、保健師それぞれ1人の採用を予定しています。

老人福祉センター柏陵荘は、施設の老朽化と温泉利用者数の減少、町の財政負担などを考慮し、令和3年3月末をもって温泉施設部分を廃止します。

指定管理者の指定

大江町案内センター（令和3年4月から令和6年3月まで）…（有）フルーツ館おおえ ※継続

大江町まちなか交流館（令和3年4月から令和6年3月まで）…ポト ※継続

大江町やまがた地鶏食鳥処理施設（令和3年2月から令和5年3月まで）…（株）AGATE

補正予算

令和2年度一般会計補正予算（第9号）が可決され、歳入歳出にそれぞれ8900万円を追加し、今年度予算の総額は66億5190万円となりました。

ミニ文化祭

作品の
一部を紹介
します

今年度の大江町文化祭は新型コロナウイルス感染症予防のため中止となり、代わりに「ミニ文化祭」として作品展示(10月3日～12月23日)、陶芸体験教室(11月29日)が中央公民館でおこなわれました。学校、保育園、福祉施設や芸術団体など16組の作品が展示され、館内は数多くの力作で彩られました。

パッチワークキルト



絵画



書道



明るい選挙啓発ポスター



絵手紙



版画カレンダー、糸かけ作品



キルト・ベットのカバー



出展者／大寿荘、町職労現業評議会調理師部会、にじいろ保育園、朝日少年自然の家、あゆみこども園、横山秀夫、大江町書道愛好会、放課後子ども教室「陶芸教室」、子育て支援センター「ぱれっと」、松田とよ・藤野美枝子、絵手紙愛好会、キルトタイム、陶芸教室、通所介護事業所「楽校」、山形県朝日学園藤田の丘分校、大江町選挙管理委員会(出展順)

陶芸体験教室



戸籍のまど

11月21日～12月15日大江町受付分

ご結婚おめでとう

区名・出身地名 氏名
(蛭水 清水 直斗
酒田市 渡辺 響

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
5 区	片桐 恵美	(79)
三合田	阿部 清一	(70)
荻野	最上三通男	(73)
若原	阿部 藤子	(95)
1 区	阿部 厚子	(71)
十八才	渡邊多喜子	(82)
塩野平	渡邊 清次	(71)
9 区	布川 光子	(92)
7 区	山家 清治	(89)
11 区	山家武三郎	(90)
13 区	吉野 勇一	(57)



編集後記

あけましておめでとうございます。広報おおえを今年もよろしくお願いいたします。

昨年12月に生活応援急便を町から町出身の学生に送付しました。その後、とある学生から御礼の手紙が届き、その中には「変わらないためには、変わり続けることの大切さ」について記載されていました。広報も皆さんから変わらずご愛読いただくために、見やすい、読みやすい紙面づくりに今後もチャレンジしていきたいと思っています。

(今野清彦)